

経営体の概要

- ・所在地：福岡県久留米市
- ・経営体名：永田 弘（法人名：Blue Sky Farm株式会社）
- ・経営概要：酪農（4農場・経産牛354頭）
- ・従業員数：9名（令和6年4月現在）

導入技術

- ・搾乳ロボット（GEA社製） 2台
1台で60頭に対応。個体毎の乳量、乳成分データを取得し、給餌量の設定に活用。
- ・次世代閉鎖型牛舎システム（パナソニック環境エンジニアリング（株）製） 1棟・120頭飼養
壁一面に取り付けられた換気扇により、牛舎空間全体に均一な風を流し、快適な環境を実現。
- ・精密飼養管理システム「デーリープラン」（GEA社製）
牛に取り付けたセンサー及び搾乳ロボットからのデータを一元管理し、分析。

搾乳ロボット 2台



次世代閉鎖型牛舎



導入経緯

- 経営主夫婦に加え、子供の3世帯が就農しており、安定的に所得を得るためには300頭程度まで増頭する必要があった。一方で、将来的なことを考え、ゆとりある生活の実現を模索していた。
- 3Dカメラ搭載の搾乳ロボットが開発されたことを契機に、平成30年に畜産クラスター事業を活用し、搾乳ロボットの導入及び次世代閉鎖型牛舎を建設した。

取組の特徴・効果

- 飼養管理の精密化により、経産牛1頭あたり乳量が9,599kg/年(H30)から10,241kg/年(R5)に増加。また、暑熱期における搾乳牛1頭あたり乳量が26.0kg/日から31.3kg/日に増加。
- 乳房炎発生率が20%から5%に減少。
- 120頭規模の牛舎の場合、1日あたりの労働時間が16時間/2名必要と想定されるが、搾乳ロボット導入により、3時間/1名で運営可能。
- 得られたノウハウを活かして、さらなる規模拡大を検討しており、1農場単位で任せられるよう従業員への教育に努めている。